最後に

ご存知の方は多いかと思いますが、今年、令和8年3月この自立生活センターたいとうの創設者であり、代表の鶴岡和代さんがお亡くなりになりました。私事ですが、鶴岡さんは以前から、「台東区身障児者を守る父母の会」でお会いしましたが、鶴岡さんも私もお互いの、顔と名前ぐらいしか知りませんでした。その後ボランティアサークルの活動が多くなり、私も入っていました、「ぽっぽの会」や「ユニークダンス同好会」に鶴岡さんも入っていて、特に同同好会では役員も務められていました。ダンスの講習が終わる時、手動車椅子に乗っている私の所まで歩いて来てくれて、次回のサークルの出欠と送迎の、聞きに来てくれました。そう、その頃の鶴岡さんは自力で歩けたのです。それから障がいが進んできて、入居施設に入らざるをえなくなりましが、それから間もなくこの台東区に帰ってこられて自立されました。その後も鶴岡さんは、自立のためにいろいろ積極的に活動をし、一緒にやろうとお誘いして戴いたのですが正直言って私は、鶴岡さんの活動に賛同できずに、何度も鶴岡さんを結果的には裏切ってしまいました。ただ最終的にはこの自立生活センターたいとうを立ち上げてから私もまちづくり新聞担当として携わらせていただいています。この新聞は不定期ですが、地道に発行させていただいています。サブタイトルに～バリアフリーアピール～と付けてこの新聞で40号になりますが、このバリアフリーフリーアピールのアピールは、ハード面のバリアフリーだけじゃなく、『ソフト面のバリアフリー』を意味しています。ですから数年前鶴岡さんが、地域に戻ってきてなさった自立生活は、「ソフト面」心のバリアフリーを切り開いたと言っていいでしょう。最後に自立生活センターたいとうで私が作っています「まちづくり新聞38号」で、鶴岡さんが